

かがやく渋谷

渋谷区議会自由民主党議員団

コロナ禍に負けない!安全安心な生活を力強く推進

自民党議員団は全力で取り組みます

コロナ対策関係補正予算を議決しました

我が会派の要望が実現!!

アフターコロナの不安に応えます

第二回定例会では、我が会派が提案した、ひとり親家庭への区独自の経済的支援が実現されました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みで、スピード感を重視し、支給対象児童1390人の家庭に児童1人当たり1万円分のクオカードを、区ニュース(6月15日号)で周知した2日後には郵送を開始しました。また、感染拡大を未然に防ぐ環境整備として、非接触で発熱者を検出する温度測定精度の高いサーマルカメラの導入を従前から要望しており、区立の全小中学校や5箇所の公共施設に順次設置が進められています。更に、(※1)スタートアップ支援事業として中小企業創業支援を推進します。

5月に開催された臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策事業について一般会計補正予算を議決しました。補正金額は約236億円が歳入歳出それぞれが増額されます。これは国会で「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が閣議決定されたのを受けたもので、迅速な生

活支援を行うための1人10万円の特別定額給付金給付事業が行われます。子育て世帯臨時特別給付金給付事業では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、児童1人につき1万円を支給しました。また、渋谷区のPCRセンターとして、渋谷区地域・外来検査センターを立ち上げ、渋谷区医師会との連携により更なる感染拡大に備え、診療・検査体制を拡充させます。

更に、緊急事態宣言の影響により深刻な打撃を受けた事業者の事業継続のため、テナント賃料支援を可能とする法制度の一刻も早い整備を強く要望し、テナント賃料支援制度の早急な創設を求める意見書を国に提出しました。渋谷区議会自由民主党議員団は、アフターコロナの社会においても、区民の皆様が安心して日常を送れる安全な街・渋谷の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

自民党議員団からの要望が早期に予算化!

「妊婦のタクシー移動支援、衛生用品購入のための育児パッケージ配布」

東京都が本年度実施している事業「とうきょうママ。パ。パ。応援事業」の対象に新型コロナウイルス感染症予防対策に係る育児パッケージが追加されたことから、衛生用品購入や健診等の際のタクシー移動に使えるチケット等の育児パッケージを配布する本事業を渋谷区として速やかに実施するよう要望しました。その結果、本事業をスピード感をもって第二回定例会で議決しました。出産・子育てに関わる不安を少しでも軽減し、皆様の期待に応えてまいります。



区長に要望書を手渡す渋谷区議会自由民主党議員団

新型コロナウイルス感染症対策に係る主な補正予算

渋谷区議会では5月に臨時会、6月に定例会が開かれ、一般会計の補正予算等が議決されました。以下、6月17日までに議決された補正予算の主な内容です。

特別定額給付金事業

234億2,216万円

区民1人あたり10万円。電子申請は5/1受付開始、郵送は5月下旬より発送。申請書提出後約2週間で入金。

問合せ先 渋谷区特別定額給付金コールセンター 0120-225-188

子育て世帯臨時特別給付金事業

1億5,300万円

児童手当受給者に対し、児童1人あたり1万円を6月に支給。

問合せ先 子ども青少年課(子育て給付係) 03-3463-2558

育児パッケージ事業

2,919万円

妊婦に対し、子ども商品券1万円分を支給。

問合せ先 地域保健課(健康推進係) 03-3463-2412

住居確保給付金事業

2億8,640万円

収入減で住居を失うおそれのある方々に原則3ヶ月、最大9ヶ月分の家賃相当額を家主へ支給。

問合せ先 相談支援担当課 03-3463-2116

渋谷区PCRセンター運営費

2,600万円

6月中に渋谷区において検査センターを開設。

問合せ先 地域保健課(感染症対策係) 03-3463-3650
※平日夜間・休日等 03-5320-4592

国民健康保険事業における傷病手当金

375万円

新型コロナウイルス感染者に対して傷病手当金を支給。

問合せ先 国民健康保険課(給付係) 03-3463-1776

予備費

4億7,000万円

これまでの対策費の補填と今後の事態に備え計上。